

もえぎ便り



保護者や地域の皆様には、本校の教育活動に御理解・御協力いただき、ありがとうございます。

本年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となり、ゲストティーチャーをお招きしたり、児童生徒たちが地域に出掛けたりするなど、これまで以上に地域の方々と直接交流をすることができました。地域の中で児童生徒たちがいきいきと活動に取り組む姿をたくさん見ることができました。

これからも、様々な形で地域に出て行き、地域とのつながりがより一層深まるよう、努めてまいります。御支援・御協力をお願いします。

小学部 『大ちゃん先生 体操教室』

小学部では、開校以来取り組んでいる「大ちゃん先生の体操教室」を今年度も行いました。小学部だけでなく、学校中や地域でも大人気の大ちゃん先生。先生の姿を見るだけで子ども達はわくわくと心躍る様子です。

マットの山を始めとしたダイナミックな動きのあるサーキットやマット取りゲームなどを通して、身体を動かすことの楽しさを学ぶことができました。また、大ちゃん先生との心地よい関わりがとても楽しい思い出として心に残りました。

体操教室が終わった後にはいつのまにか大ちゃん先生の周りに子ども達が集まり、「楽しかった」「ありがとう」「大好きだよ」などと感想や感謝の気持ちを伝えました。大ちゃん先生に笑顔で応えていただき、達成感や満足感を得て自信を抱き、次の活動へと向かうことができている。体操教室は、こういった素晴らしい交流の場となっています。



中学部 「ダンス」

1月の体育では、ダンスの学習に取り組みました。吉田町にあるダンススタジオ『Cheese!!』から講師の先生をお招きして、振り付けや体を動かすポイントを教えていただきました。徐々に振り付けを覚えてくると、自然と笑顔で踊るようになりたりダイナミックに体を動かしたりする姿が多く見られるようになりました。中盤からはグループに分かれて、フリーパート部分の振り付けを考えました。生徒たちは「こんな動きはどう?」「これならできそう!」など、互いにやり取りをしながら振り付けを考えて、講師の先生から助言をいただくことで自分たちのダンスを完成させることができました。発表会の日には、それぞれのグループが発表をしたり講師の先生を囲んで全員で踊ったりするなど、練習の成果を発揮しながら楽しく体を動かすことができました。



高等部 「地域作業」

高等部では、共生社会の構築を目指して、地域で生きる人、地域に貢献できる人を育てるために地域作業を行っています。毎週水曜日、吉田町の様々な場所や施設で清掃や花壇の花植え等の活動を行っています。来年で開校10年目になりますが、開校以来続けている活動です。「おはよう。」「きれいにしてくれてありがとう。」等と言葉を掛けていただくことが、生徒たちの励みになっています。「地域のために」と意欲をもって働く生徒を見かけたら是非声を掛けてください。



小学部5組 「ありがとうの旅」

学年末を迎え、まとめの時期になりました。この1年間で培ってきた力を発揮したり、より確かなものにしたりするために、生活単元学習「ありがとうの旅」を行いました。子ども達はこの1年、それぞれ目標に向かい学習に取り組んできました。人との関わりの中で視線を向けたり、自分なりの表し方であいさつをしたりすることができるようになった児童、教師と一緒に書字に取り組みその楽しさを実感し、文字や言葉へ興味の広がりを見せた児童など、これまでの学習の積み重ねが発揮されてきています。子ども達は、今年度お世話になった人たちに「ありがとうの気持ちを伝えたい。」ということで、校内だけでなく校外でお世話になった人たちにも、楽器演奏や歌、手作りのコースターなどで伝えることにしました。多くの人と楽器演奏や歌で楽しい時間を共に過ごしたり、手作りコースターで喜んでもらったりと互いの「ありがとう」の言葉がこだまする学習になりました。

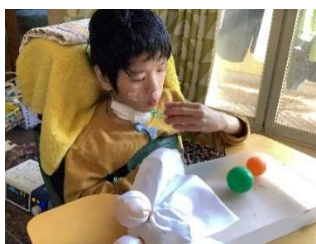
校外においては、今年度2回、吉田中央児童館へ校外学習に行ってきました。職員の方だけでなく地域の方と楽器の演奏を楽しんだり、指絵の具やシールを使った掲示物の制作をしたりして共同的な活動に取り組んできました。今回の学習ではビデオレターでありがとうの気持ちを伝えました。



訪問教育 「卒業に向けて」

卒業が近づいている高等部3年生の2人は、これまでお世話になった学校やつくしの家の先生方に「ありがとう」の気持ちを伝えるため、生花とバッジのプレゼント作りに取り組みました。生花はガーベラやマーガレット等を鉢に植え、水かけをして大切に育てました。教師と一緒に花を摘み、入れ物をシール等で飾ってプレゼントしました。バッジは好きな色の染め絵の具を選び筆で描いたり、手を使って袋に入れたりして仕上げました。先生方に渡すと喜んで受け取ってくれて、3年生も笑顔になりました。

在校生は、3年生にメッセージボードの背表紙を作りました。小さなボールを手に取り教師と一緒に布に括り付けて、染料を入れた袋の中でもんで染めました。布に模様ができて素敵な色合いになりました。3年生には今までの出会いを胸に、学習したこと経験したことを生かして元気に過ごしてほしいと願いを込めました。



コミュニティ・スクールの取組

学校と地域住民の方々等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とつながる学校」を目指して、今年度もコミュニティ・スクールを実施しました。各学部で「ボランティア先生」をお招きし、充実した交流や学習を行うことができました。



<小学部 大石光明先生>

5年生に3回、太鼓の指導をしてもらいました。太鼓を叩く上での、姿勢やばちの持ち方、叩き方を具体的に指導いただき、回数を重ねるごとに叩き方や音がよくなりました。



<中学部 弓田康詞先生>

2回来校いただきました。今年度は2年生が紅茶について学びました。茶葉そのものを見たり、紅茶の淹れ方を見せてもらいながら飲ませてもらったりと本物に触れる学習ができました。



<高等部 峯野利也先生>

5月から毎月1回、御指導いただきました。土づくり、畝づくり、苗の定植、マルチ張りなど、何のために行うのか教えてもらい、一つずつの活動の意味を考えながら作業を行うことができました。



<肢体訪問教育 大石清志先生>

主に1学期、夏野菜について学びました。生徒が野菜の葉、茎、根の役割について、人の機能の役割と育ちと比較しながら自分たちで学び、その学びを大石先生に発表して評価と助言をいただきました。

今年度は、ボランティア先生の取組3年目ということで、区切りの年になります。3年間、御指導いただいた先生方からは「3年間、指導させてもらえて子どもたちのことが少し分かり、教え方を工夫できた」「発表会で力いっぱい演奏していたのが、嬉しく頼もしく思いました。指導してよかったです」等の感想をいただきました。

一区切りということで、本校校長が感謝状でお礼を伝えました。来年度から新たな3年間のボランティア先生の取組も成果と課題を共有して、充実したものにしていこうと思います。

～祝 卒業～

今年度は小学部6年生15人、中学部3年生10人、高等部3年生22人が卒業を迎えます。4月から高等部卒業生は企業や事業所での就労や施設の通所など、それぞれ新しい道へ進んでいきます。これからも社会の一員として地域の皆様に見守っていただきたいと思います。